

KIMONO 小袖にみる華・デザインの世界

2006.4.28 fri→6.11 sun

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）毎週火曜日休館

入 場 料：一般 500円（学生、未就学児、65歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方は無料）

交 通：小田急線相模大野駅下車

神奈川中央交通バス 駅前バス乗場3番「女子美術大学行き」約20分

※午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール4番乗場より発車

http://www.joshibi.ac.jp/index_j.html

問合せ：042-778-6801（女子美アートミュージアム直通）

主 催：女子美術大学 共 催：女子美術大学研究所・工芸学科研究室・短期大学部刺繍研究室 監 修：長崎 巖

協 力：カネボウ株式会社、共立女子大学、国立能楽堂、株式会社小学館、泉屋博古館分館、東京国立博物館、遍山記念館、文化庁

後 援：相模原市、相模原市教育委員会、神奈川新聞社、財団法人日本ファッション協会、服飾文化学会、文化財保存修復学会

神奈川相模原市麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス 10号館 1階

女子美アートミュージアム JAM

JOSHIBI ART MUSEUM



古今東西を通じて花は、美しいもの、生命あるものとして鑑賞され、歌や物語に記されるのみならず、模様やデザインを構成するモチーフとしてさまざまな工芸品を彩り、私たちの生活に潤いを与えてくれました。工芸の一領域である染織においても、花のモチーフは種々の技法を駆使して多彩に繰り広げられており、それはまさにデザインの華にほかなりません。

日本人は古来、季節の移ろいの象徴として花々を身近に愛で、親しんできました。四季それぞれの開花に喜びを覚え、散りゆく花に無常を感じる心情は、私たちの内面に深く息づき、文化の重要な部分を形成しています。日本近世の小袖を展示するこの展覧会は、こうした文化的伝統とともに、現代の目からみても斬新さを備えた「花」のモチーフで彩られたデザインに焦点を当て、構成されています。

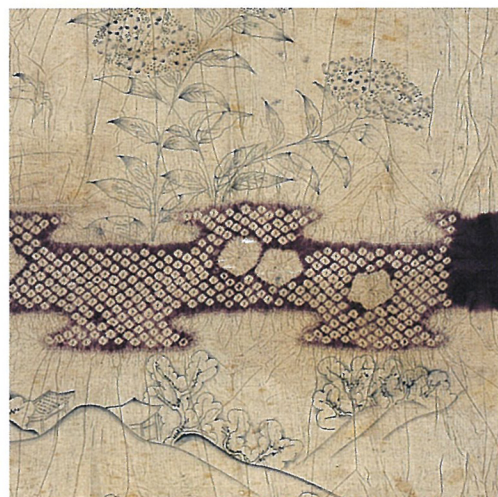
小袖は、自然や文化、社会の影響を受けながら、近世初期に完成したと言われています。時代によって袖幅や身幅などのバランスに多少の変遷はあるものの、その基本的な形態は現代の「きもの」に至るまでほとんど変わっていないと言ってよいでしょう。小袖は形態が一定でかつ平面的であるために、変化や差異を求めるとすれば、色彩、素材、加飾技法、そして何よりもデザインに意を配らなければなりません。近世の小袖は、このようにある種の限定を課せられながらも、そのことが、二百数十年にわたる染織技法の発展と相まって、多彩で華麗なデザインの表出を可能にしたのだと言えましょう。変化のない形態の同一性こそが、斬新なデザイン展開の強力な推進力になったのです。

今回の展覧会では、女子美術大学美術館に寄託されている染織コレクションと美術館の所蔵作品から、花のデザインに基づく七つのテーマー「風景の華」「詩歌の華」「吉祥の華」「雅の華」「友禅の華」「絞縞の華」「桃山の華」に即して近世の小袖と裂類を展示いたします。小袖を一つの造形空間として、辻が花染、摺箔、絞り染、刺繍、友禅染などの技法を駆使しながら、どのようなデザインがどのように表現されてきたのか、また時代や身分による美意識の違いがいかなるものかを間近にご覧いただけるでしょう。同時に、そのデザインのもつ華麗さ、大胆さ、知性と感性の煌めきは、現代において色褪せるどころかますますその輝きを増し、未来のデザインにも限りない示唆をあたえるものであることを認識する機会ともなるでしょう。

「白地流水に杜若模様打掛」(部分)



「紫陽花と茅屋模様裂」(部分)



関連企画

ワークショップ

1. ゴムを使った豆絞り技法で、藍染めのハンカチを制作します。

日時：5/13(土) 1:30pm～3:30pm

会費：500円

定員：20人

2. 刺繍と摺箔の技法で、グリーティング・カードを作ります。

日時：5/27(土) 1:30pm～3:30pm

会費：500円

定員：20人



「浅葱地八橋に杜若模様単衣」(部分)

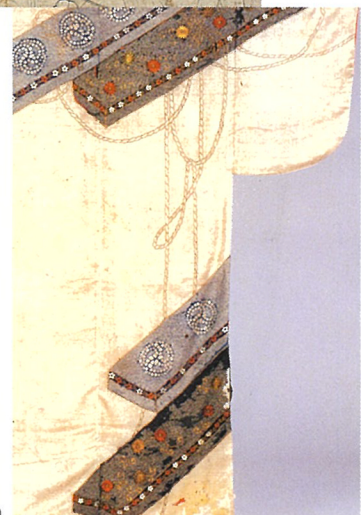
ギャラリートーク

日時：5/15(月) 1:30pm

担当：水上嘉代子（遠山記念館学芸員）

日時：6/5(月) 1:30pm

担当：岡田 宣世（女子美術大学教授）



「白地文箱模様小袖」(部分)

シンポジウム

「小袖にみる華、そのデザインの世界」

日時：6/3(土) 10:00am(開場) 10:30am(開会)～3:00pm

会場：2号館2階 224講義室

講師：長崎 巖（共立女子大学教授）

深井 晃子（静岡文化芸術大学大学院教授）

大久保 純一（国立歴史民俗博物館助教授）

岡田 宣世（女子美術大学教授）

小川 文男（株式会社竺仙 代表取締役）

*ワークショップ・シンポジウムはすべて申し込み制となります。必要事項をご記入の上、イベントの開催3週間前までに往復はがきでお申し込みください。

（申し込み多数の場合は抽選になります。なお、定員に余裕のある場合は当日の参加が可能です。）

1. イベント名（開催日） 2. 参加者の名前(年齢) 3. 住所 4. ご連絡先

宛先：〒228-8538 神奈川県相模原市麻溝台1900 女子美アートミュージアム「KIMONO」係

お問合せ：女子美アートミュージアム TEL：042-778-6801(直通) FAX：042-778-6815

